

〈2021年9月・2022年4月入学〉

早稲田大学大学院
環境・エネルギー研究科

外国人特別選考入学試験要項

修士課程・博士後期課程

海外協定校からの入学希望者対象

個人情報の取り扱いについて

当学では、志願時に収集した個人情報(住所・氏名・生年月日等)を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

目次

外国人特別選考入学試験要項：修士課程・博士後期課程 海外協定校からの入学希望者対象

出願要領	1
1. 募集人員	1
2. 募集研究指導と授与学位	1
3. 入学の時期	1
4. 出願資格	1
5. 出願期間	2
6. 出願書類	2
7. 出願方法	6
8. 入学検定料	6
9. 入学検定料の支払い方法	6
10. 入学検定料の返還について	9
受験要領	9
1. 選考方法	9
2. 不正行為について	9
合格者発表	9
入学手続要領	9
1. 入学手続期間	10
2. 入学辞退にともなう学費返還	10
3. 学費・諸会費等	10
在留資格「留学」の取得について	11
[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]	14
研究指導および担当教員	16

- 本要項における外国人特別選考入学試験は、原則、早稲田大学の海外協定校卒業見込みの方のみが出願することができます。
- 外国人特別選考制度入学試験は、2021年9月および2022年4月入学志願者に対し、**2回実施**します。
- 志願者は、2回の試験のうち、**1回のみ出願**することができます。
- それぞれの出願日程・試験日程が異なります。日程を間違わないよう注意してください。
- **出願前に必ず当研究科入試係に出願する旨をメールで連絡してください。**

E-mail: weee-ent@list.waseda.jp

出願要領

1. 募集人員

若干名

2. 募集研究指導と授与学位

【修士課程・博士後期課程】

研究指導	指導教員		授与学位
環境調和システム機器研究	教授	関谷 弘志	工学・学術
エネルギー・環境政策研究	教授	友成 真一	学術
環境・エネルギーネットワーク研究	教授	中西 要祐	工学・学術
環境・パワーシステム研究	教授	草鹿 仁	工学・学術
環境・エクセルギー工学研究	教授	中垣 隆雄	工学・学術
環境システム評価研究	教授	納富 信	工学・学術
環境・電気エネルギー研究	教授	紙屋 雄史	工学・学術
環境配慮エネルギー・循環システム研究	教授	小野田 弘士	工学・学術
環境共生・地域社会システム研究	准教授	野津 喬	学術

3. 入学の時期

2021年9月 または 2022年4月

4. 出願資格

【修士課程】

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

(1) 制度上の資格

・出願時に早稲田大学の海外協定校に在学し、当研究科を第一志望として入学を強く志す者。

(2) 学歴上の資格

次の①または②および③の条件に該当する者を対象とします。ただし、2021年9月入学志望の者は2021年9月20日まで、2022年4月入学の者は2022年3月末日までの見込者とします。

①外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、または修了見込みの者。

②外国において学校教育における15年の課程を修了、または修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者。

③日本語能力試験 N1 以上の語学能力を証明できる者。

※最終学歴が中国の大学の専科(3年制)卒業者には、上記②には該当しません。ただし、専科を卒業後に本科を卒業して16年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

※「外国において通常の課程による 16 年の学校教育を修了した者」とは、「日本国外の正規の学校教育における「16 年目の課程」を修了した者」という意味です。16 年間教育を受けたかではなく、「16 年目の課程を修了しているかどうか」で判断します。

※初等～高等教育までの正規の課程の年数が 16 年未満の国の課程を修了した方は、事前に学歴の審査を行います。”学歴確認フォーム”を下記のサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、早稲田大学国際アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

※外国籍の方であっても、日本の大学を卒業している方は「外国学生」には該当しません。

・学歴確認フォーム ダウンロードサイト

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/faq/>

・問い合わせ先メールアドレス

iao-gs@list.waseda.jp

【博士後期課程】

出願時に日本国外に在住の外国人で、次の制度上の資格および学歴上の資格を共に有する者。

(1) 制度上の資格

・ 出願時に早稲田大学の海外協定校の修士課程に在学し、当研究科を第一志望として入学を強く志す者。

(2) 学歴上の資格

次の条件に該当する者を対象とします。ただし、2021 年 9 月入学志望の者は 2021 年 9 月 20 日まで、2022 年 4 月入学の者は 2022 年 3 月末日までの見込者とします。

・ 修士の学位を得た者またはこれに相当する学位を得た者。

5. 出願期間

入学時期	入試区分	出願期間
2021年9月	5月入試	2021年4月1日(木)～4月30日(金) (必着)
2022年4月	5月入試	2021年4月1日(木)～4月30日(金) (必着)
	11月入試	2021年10月1日(金)～10月31日(日) (必着)

6. 出願書類

	所定用紙	提出書類	修士	博士
①	*	<p>志願票</p> <p>以下の全要件に合致する写真を貼付してください。 (入学手続の際、同じ写真が必要になります)</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦4cm×横3cmの証明写真 出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・無帽・無背景・枠なし) マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。 スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 証明写真ボックスで撮影されたスピード写真は受け付けますが、家庭等で撮影された写真は受け付けません。 裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に全面糊付けしてください。 提出された写真は、試験当日の本人確認や、入学後の学生証の写真として使用しますので、本人を判別できるような写真を用意してください。また、学内諸手続における本人確認、および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録しますので、予めご了承ください。 <p>※当学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、戸籍上の性別情報を収集しています。当学では性別情報収集を合理的理由があると判断される必要最小限に留め行っております。</p>	○	○

②	*	志望理由および自己アピール書 志望理由と進学に対する意欲、本人の能力のアピール等を1,000字以内で記入してください。	○	○
③	*	入学後の研究計画 希望する研究課題の内容や活動計画の概要を1,000字以内で記入してください。	○	○
④	*	研究業績報告書 研究等に関する業績を記入してください。	×	○
⑤	*	活動実績概要書 本人が行ったこれまでの研究や社会での活動の概要を1,000字以内で記入してください。	○	○
⑥		各種証明書(原本) ①卒業修了見込証明書 ②学位取得見込証明書※中国の大学を卒業見込の者 ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。 日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文(英語または日本語)を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。 ・卒業修了見込証明書が発行されない場合は在学証明書を提出してください。 ・博士後期課程に出願する方は、学部・修士課程両方の各証明書を提出してください。 ・複数の大学・大学院に在籍している(た)場合、全ての大学・大学院について提出してください。 ・中国の大学を卒業した方は、证书编号が記載されている証明書を提出してください。 ※中国の教育機関を卒業された方は、証明書の原本の他に、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、 <u>英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」</u> をCHESICCから環境・エネルギー研究科事務所(weee-nyusi@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。 ・詳細についてはCHESICCのWebサイトをご確認ください。 https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ ・必ず出願期間締切日までに本学へ「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate(英文版)」が届くよう、余裕を持って準備してください。 ・CHESICCから直接メールが届く「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate(英文版)」のみ有効とします。	○	○
⑦		成績証明書(原本) ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。 日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文(英語または日本語)を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。 ・編入学者は、編入学前の成績証明書も提出してください。 ・博士後期課程に出願する方は、学部・修士課程両方の証明書を提出してください。 ・複数の大学・大学院に在籍している(た)場合、全ての大学・大学院について提出してください。	○	○

⑧	*	<p>推薦状(原本)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 所定様式のを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。 • 出願開始日の2年前以降に作成されたもののみ有効になります(作成日が記載されていない推薦状は無効です)。 • 推薦状は必ず厳封されたものを提出してください。<u>厳封が無いものは原則無効</u>といたします。 • 日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。 	○	○
⑨		<p>英語能力証明書(原本)</p> <p>出願受付開始日から2年以内に受験した英語テストスコアレポートのみ有効です。提出可能な英語テストは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TOEIC L&R (Official Score Certificate) • TOEFL-iBT (Official Score Report) Official Score Reportが試験実施団体から出願締切日までに当研究科事務所(Waseda University Graduate School of Environment and Energy Engineering)へ直接送付されるように依頼してください。 TOEFL団体ウェブサイト http://www.ets.org DIコード(Designated Institution Code): C324 • IELTS Academic (Test Report Form) <p>(※TOEIC IP, TOEIC S&W, TOEIC Bridge, TOEFL ITP, TOFEL PBT, TOEFL CBT, IELTS General Training, TEP-TEST等は無効です。)</p>	○	○
⑩		<p>日本語能力試験N1の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」、または日本留学試験の「日本留学試験成績に関する証明書」(原本)</p> <p>※日本語能力試験可否結果通知書は提出しないでください。</p>	○	△
⑪		<p>学術論文、学会講演発表等の抜き刷り等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学術論文、学会講演発表等の抜き刷りならびに各種制作物等の写真やリストなど • 各種資格取得証明書、取得特許概要等のコピー 	△	△
⑫	*	<p>留学にかかる経費負担計画書</p> <ul style="list-style-type: none"> • 所定の用紙に、当学に留学する間の総費用(修士課程出願者は2年分、博士後期課程出願者は3年分の学費および生活費)をどのように負担するのかについて記入してください。※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 • 経費負担計画書の「政府またはその他財団」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書(原本)を提出してください。日本語または英語で発行されていない奨学金受給証明書を提出する場合は翻訳文も提出してください。翻訳文の内容を証明する公証書の提出は不要です。 	○	○
⑬		パスポートのコピー (顔写真のページ)	○	○
⑭	*	在留資格認定証明書交付申請書(申請人等作成用)写真1枚添付	○	○

⑮	* (一部)	<p>経費支弁に関する書類(原本)</p> <p>入学初年度分の学費・生活費の資力があることを証明する書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人が経費を負担する場合 本人口座の預金残高証明書※1 ・ 奨学金を受給する場合 奨学金受給証明書 ・ 本人以外が経費を負担する場合 以下書類を両方とも添付してください。 ① 経費支弁書(所定用紙) ② 経費負担者口座の預金残高証明書※1 <p>※1 残高証明書の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 口座名義人名、銀行名、日付、預金残高が確認できるもの。 ・ 1年分の生活費として96万円以上の残高が必要。 ・ 日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること(翻訳公証は必要ありません)。 ・ 日本円以外の預金残高証明書の場合は、当研究科で書類確認時のレートで換算します。 	○	○
⑯		<p>入学検定料を支払ったことの証明書</p> <p>外国送金の場合は外国送金依頼書のコピー、クレジットカード、銀聯カードおよびアリペイの場合は「申込内容照会結果」画面を印刷したものを同封して下さい。</p>	○	○
⑰	*	<p>提出書類返還依頼書</p> <p>再発行が不可能なものに限り、書類を返還いたします。卒業(修了)証明書、学位証明書、成績証明書、語学能力証明書(日本語・英語)、公証書、推薦状等の再発行可能な書類は返還されませんが、当学が確認を行い、再発行が不可能だと判断した書類のみ、返還いたします。返還作業には1~2ヶ月程かかります。</p>	△	△

○必須、△任意、×不要

・所定用紙は当研究科ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.waseda.jp/fsci/gweee/applicants/admission/application/>

※Word文書として入力後、印刷して提出してください。手書きで提出する場合は、黒のペンまたはボールペンを使用してください。文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。様式の大きさ等の変更しないでください。(※修士課程へ出願する方は、日本語で記入して下さい)

出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

7. 出願方法

- ① 出願はすべて郵送に限ります。期間外に到着した書類は受け付けません。
- ② 封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、EMS等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。出願締切日を必着とし、締切日を過ぎて到着した願書は一切受け付けません。
- ③ 送付する封筒の表面に、課程・何月入試の出願かを朱書してください。
例:外国人特別 修士課程・5月入試願書在中 | 外国人特別 博士後期課程・11月入試願書在中
- ④ 出願書類受理証明書等は発行しません。出願書類が大学に到着しているかどうかは、各自で、トラック番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。

＜出願書類郵送先＞

〒367-0035
埼玉県本庄市西富田1011
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

身体機能の障がいや疾病等により、就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科までお問合せください。

8. 入学検定料

5,000円

9. 入学検定料の支払い方法

納入期間は以下のとおりです。

入学時期	入試区分	納入期間
2021年9月	5月入試	2021年4月1日(木)～4月30日(金)
2022年4月	5月入試	2021年4月1日(木)～4月30日(金)
	11月入試	2021年10月1日(金)～10月31日(日)

入学検定料支払い、出願書類の提出・受理をもって出願が完了します。
検定料を納入していない方の出願は受け付けません。

以下の支払い方法のうち、いずれかを選んで支払ってください。

■外国送金による支払

入学検定料 5,000 円に円為替手数料 2,000 円を加算した合計 7,000 円を、次の要領に従って金融機関より送金して下さい。現地金融機関において別途手数料がかかる場合は、7,000 円とは別に窓口で支払して下さい。また、必ず「外国送金依頼書」のコピーを提出書類に同封して下さい。

送金種類(Type of remittance)	電信送金(Telegraphic Transfer)
支払方法(Payment method)	通知払(Advise and Pay)
振込銀行手数料(Transfer fee)	依頼人負担(Payer's Responsibility)
円為替手数料(Lifting charge)	受取人負担(payee's Account)
送金金額(Remittance amount)	7,000円(検定料5,000円+円為替手数料2,000円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合は、この金額とは別に窓口でお支払いください。
送金目的(Purpose of remittance)	入学検定料(Screening Fee)
連絡事項(Message to payee)	研究科コード「54」と志願者本人の英字氏名(Graduate School Code 54 along with Applicant's Name in English)
送金先 (Payee's Account Information)	銀行名： 三菱UFJ銀行(MUFG Bank, Ltd) 支店名： 江戸川橋支店(Edogawabashi Branch) 口座番号： 0035967FLK 受取人名： 早稲田大学(Waseda University) 銀行住所： 〒112-0014東京都文京区関口1-48-13 (1-48-13 Sekiguchi, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0014, Japan) スィフトコード： BOTKJPJT (Swift Code)

■クレジットカード・中国オンライン決済による支払方法

・クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンより「インターネット上の支払いサイト」(<https://e-shiharai.net/card/>)にアクセスをして所定申込手続を完了させる必要があります。

□支払い終了後、決済完了が表示された Web ページを印刷し、志願票と一緒に提出してください。支払方法の詳細については、8ページの「クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法」を確認してください。

※支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。

※支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続をする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カード・アリペイを
利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込み／オンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/card/>

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



当学HP
からも
アクセス
できます!

1. トップページ

お支払い先(大学・短大)を選択してください。

2. 学校選択

学校一覧から、「早稲田大学 (クレジットカード・中国オンライン決済専用)」を選択。

3. 学校案内

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。

4. カテゴリ選択

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※ American Expressの場合は15桁
※ お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カード・アリペイの場合

それぞれの専用画面に推移します。
画面の指示に従って、支払いを完了してください。

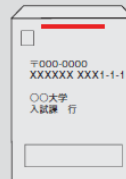
「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する



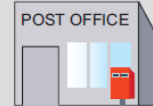
印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。
支払い期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カード・アリペイで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	585 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カード・アリペイでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

10. 入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り返還いたします。該当する方は当研究科入試係 (weee-ent@list.waseda.jp)までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 3) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入された場合や、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

受験要領

1. 選考方法

提出された出願書類を基に合否判定を行います。

2. 不正行為について

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

当学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となる場合があります。
2. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと(入学検定料は返還しない)。
 - ・当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

合格者発表

- ① 受験者全員に対して、以下の日程で志願票に記載されている志願者現住所宛に「選考結果通知書」を郵送します。転居した場合は、必ず当研究科入試係に連絡してください。

入学時期	入試区分	選考通知書投函日
2021年9月	5月入試	2021年 5月19日(水)
2022年4月	5月入試	2021年 5月19日(水)
	11月入試	2021年 11月24日(水)

※上記日程の1週間後でも「選考結果通知書」が到着しない場合には、当研究科入試係まで問い合わせてください。

※電話、Email等による合否に関する問い合わせには回答しません。

- ② 当研究科が、9月入学を認めた当研究科合格者には、2021年9月からの入学を許可します。ただし、2021年9月20日までに入学資格を取得した方に限ります。
- ③ 当研究科が、4月入学を認めた当研究科合格者には、2022年4月からの入学を許可します。ただし、2022年3月末日までに入学資格を取得した方に限ります。

入学手続要領

所定の入学金・学費・諸会費を振り込んだうえで、以下締切日までに入学手続書類を郵送してください。入学手続期間後の入学手続はどのような事情があっても一切認めませんので、十分注意してください。

詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。なお、入学時期の延期、変更等はできません。

1. 入学手続期間

入学時期	入学金・学費等振込期限	入学手続書類締切日
2021年9月入学	2021年6月9日(水)	2021年8月24日(火)【締切日必着】
2022年4月入学	2021年12月1日(水)	2022年2月22日(火)【締切日必着】

- ① 手続はすべて郵送に限ります。期間外に到着した書類は受け付けません。
- ② 封筒(A4判が折らずに入る大きさ)に入れて、EMS等の追跡サービスが利用可能な方法で送付してください。
- ③ 送付する封筒の表面に「外国人特別選考 手続書類在中」と朱書してください。
- ④ 手続書類受理証明書等は発行しません。手続書類が大学に到着しているかどうかは、各自、トラック番号等で確認してください。
- ⑤ 直接持参は受け付けません。
- ⑥ 手続完了者には、「入学許可書」を郵送します。

《手続書類郵送先》

〒367-0035
 埼玉県本庄市西富田1011
 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係

2. 入学辞退にともなう学費返還

一度提出した書類および納入した入学金(登録料)、学費・諸会費(第一期分)は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費(第一期分)のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

3. 学費・諸会費等

2021年9月入学者の入学手続に必要な入学金、学費、諸会費等は、以下の通りです。

修士課程入学者の初年度学費明細 (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
200,000	481,000 (入学時)	481,000	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 729,500 春学期 529,500

博士後期課程入学者の初年度学費明細 (単位:円)

入学金	授業料		実験演習料		学生健康増進 互助会費	合計
	秋学期	春学期	秋学期	春学期		
200,000	353,500 (入学時)	353,500	47,000 (入学時)	47,000	1,500 (学期毎)	入学時 602,000 春学期 402,000

※当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学者の場合、入学金が免除されます。

※学費等は改定されることがあります。

学費等の一覧は以下URLで確認してください。

<https://www.waseda.jp/inst/admission/graduate/fees/>

※上記表の学費等の他に、最終学年・最終学期に校友会費10年分(割引適用40,000円)が必要となります(本学学部出身者、編入学、一貫制博士課程、博士後期課程、科目等履修生、ダブルディグリーは対象外)。

在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上記のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。

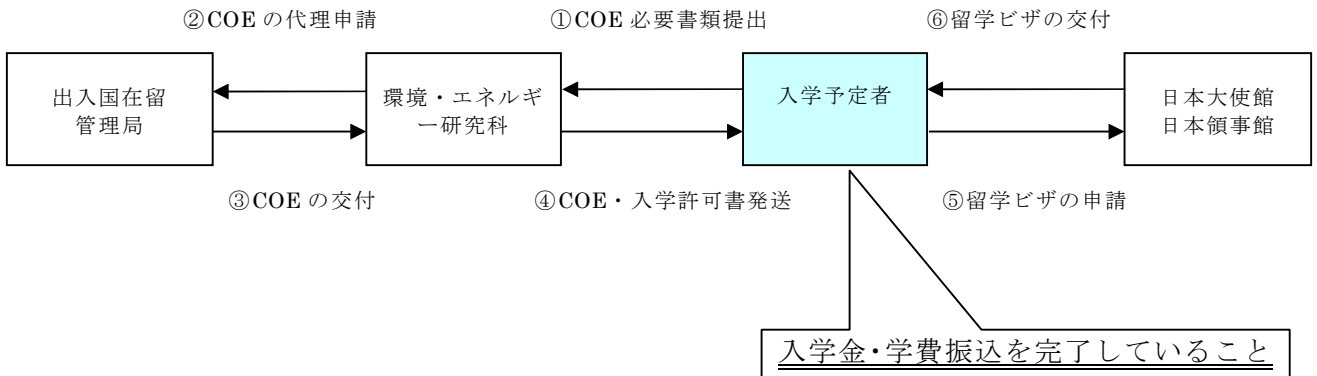
(1) 在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」(Certificate of Eligibility=COE)を申請する必要があります。当研究科では所定の**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り**、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。所定の書類が提出されない場合や書類に不備がある場合は、「在留資格認定証明書」の代理申請は行いません。代理申請後、COEが出入国在留管理局より当研究科に交付されましたら、申請者に入学許可書とともに郵送いたします。COEを受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ(査証)を申請してください。COEの有効期限は3か月です。有効期限内にビザを取得し、渡日してください。COE代理申請書類の受取りから出入国在留管理局への代理申請、審査、COEの交付まで2~3か月程度を要しますので、すみやかに入学手続を行ってください。

- 【注】・代理申請は、学費等振込を完了しないと行いません。希望者は、すみやかに振込を済ませ、早急に代理申請手続を行ってください。
・代理申請に必要な書類および送付先はP13の「在留資格認定証明書代理申請依頼書」をご確認ください。

< 留学ビザ取得までの流れ(①→⑥)>

※留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。
当研究科事務所にCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館、日本領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



(2) 「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の3か月前から手続きできます。在留期間更新手続に関する詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。

<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/studentstatus.html>

(3) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「(1) 在留資格を有していない場合」を参照してください。

(4)「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続の必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続に関する詳細は、以下のウェブサイトを参照してください。

<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/prospective/currentresidence.html>

【注】在留期間更新許可申請書および在留資格変更許可申請書には、早稲田大学の押印のある書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を留学センター窓口（早稲田キャンパス22号館4階）に持参してください。

(5) 在留資格の取得、変更（自己申請）
〈査証免除／短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合）で入国した場合、原則として、日本国内での資格変更は認められていません。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）で、新学期までに再度帰国が難しい場合は、志願者本人が東京出入国在留管理局でCOEの申請を行い、在留資格の取得が許可され証明書が発行されたら、資格変更手続を行ってください。ただし、例外的な受付となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。その際は、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

(6) その他注意事項

- ・当研究科が代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書（書式自由）とともに至急COEを当研究科へ返送してください。また、他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- ・重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター（E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp）または当研究科（E-mail: weee-ent@list.waseda.jp）へ問い合わせてください。

〈在留資格認定証明書代理申請依頼書〉

◎以下の書類をすべて同封のうえ、書留便(国際スピード郵便等)を利用して当研究科事務所に送付してください。

【在留資格認定証明書】の申請に必要な書類 * 同封した書類に☑チェックをしてください。

- ①在留資格認定証明書交付申請書(申請人作成用 3 枚, 写真 1 枚添付)
https://www.waseda.jp/fsci/gweee/assets/uploads/2021/04/COE-application-form_202104.pdf
 ※必ず、申請書記載例を確認してください。
https://www.waseda.jp/inst/admission/assets/uploads/2021/02/2022_COE_sample.pdf
- ②パスポートのコピー(顔写真のページ)
- ③在留資格認定証明書代理申請依頼書(本書面)
- ④経費支弁に関する書類(原本)

1	本人が経費を負担する場合	預金残高証明書※1(本人口座)
2	奨学金を受給する場合	奨学金受給証明書
3	本人以外が経費を負担する場合	預金残高証明書※1(経費負担者口座)および経費支弁書

※1 残高証明書の注意点

- ・口座名義人名、銀行名、日付、預金残高が確認できるもの。
- ・1年分の生活費として96万円以上の残高が必要。
- ・日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること(翻訳公証は必要ありません)。
- ・日本円以外の預金残高証明書の場合は、当研究科で書類確認時のレートで換算します。

- ⑤経費支弁書(本人以外が経費を負担する場合のみ必要。)

※所定用紙は以下よりダウンロードしてください。

https://www.waseda.jp/inst/admission/assets/uploads/2021/03/defrayers_expense.pdf

申請書類送付締切日

入学手続き時に指定する日【郵送必着】

※「在留資格認定証明書」の審査には2~3か月の時間を要しますので、締切日にかかわらず、入学金・学費振込を速やかに完了し、早めに申請することを推奨します。

申請書類送付住所

〒375-0035 埼玉県本庄市西富田 1011
 早稲田大学環境・エネルギー研究科「在留資格代理申請」係

問い合わせ先

E-mail: weee-ent@list.waseda.jp

氏名 (漢字) Name in Kanji (If any)		
氏名 (ローマ字) Name in English alphabet		
現住所 (英語) (郵便番号を忘れずに) Current address in English alphabet with Zip Code	郵便番号: 電話番号:	(Zip Code) (Phone number)
在留資格認定証明書の送付先(英語) (日本国外住所および受取人) Mailing Address of the recipient of COE in English alphabet (address outside of Japan)	受取人名	(Recipient's name in English alphabet)
	住所	(Address)
	都市名	(City)
	州/省	(State/Province)
	国名	(Country)
	郵便番号 (Zip Code) 電話番号 (Phone number)	
Eメール E-mail address		
入学予定学部/研究科 Undergraduate /Graduate School	早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 Graduate School of Environment and Energy Engineering, Waseda University	
受験番号 Examinee's number		

[特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度]

[Screening fee waiver program for applicants from specified countries]

1. 概要／Outline

当学学部または研究科への入学を希望する出願者が、当学が指定する国に居住しかつ国籍を有する場合、本人からの申請に応じて検定料を免除します。

Applicants who wish to be admitted into an undergraduate or graduate school of Waseda University are eligible to apply for a screening fee waiver if they reside in one of the countries designated by Waseda University AND hold nationality of one of those countries.

2. 対象者／Eligibility

次の条件を全て満たす場合。The following conditions must be fulfilled:

1) OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Other Low Income Countries」の認定国に居住し、かつ該当国の国籍を有する方。ただし、居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

* 対象国は下部参照。

* 日本国内に居住する場合は対象外とします。

1) The applicant must reside in one of the countries classified as "Least Developed Countries" or "Other Low Income Countries" in the list of ODA recipients as published by OECD/DAC AND hold nationality of one of those countries (the applicant's country of residence and nationality do not necessarily have to be identical).

* For the list of eligible countries, refer to "Eligible Countries" below.

* Applicants residing in Japan are not eligible.

2) 重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当していることが必要です。

2) Applicants with dual nationality are only eligible if both nationalities are included in the list of eligible countries described in 1) above.

3. 手続／Procedures

当学学部または研究科を志願する際、出願書類として提出をもとめている検定料振込証明書（海外送金依頼書のコピーなど）の代わりに以下の書類を同封して申請してください。事後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

When applying to an undergraduate or graduate school of Waseda University, please enclose the following documents with the other application documents instead of the certificate of payment for the screening fee (copy of the remittance form etc.). The application for the screening fee waiver program must be made along with the application for admission. Applications made afterward will not be accepted under any circumstances.

1) 検定料免除措置申請書（所定様式）

1) Application Form for Screening Fee Waiver

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

2) Copy of passport (including all details of the applicant)

* 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。なお、本免除申請を行う前に支払ってしまった場合には、検定料の返還は行いません。

* Applicants who apply for the screening fee waiver program are not required to pay the screening fee. However, if payment was made before the application for the screening fee waiver program, the screening fee will not be reimbursed.

* 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

* In the event that the applicant is found to be ineligible for the screening fee waiver program or have made a false claim, the application for admission to Waseda University itself might be revoked immediately.

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンディ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, D.P.R.Korea, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia, Zimbabwe

受験番号 (事務所記入欄 For office use only)

2021 年度 早稲田大学検定料免除措置申請書
Application Form for Screening Fee Waiver, 2021
Waseda University

申請日： 年 月 日
Date of Application: Year Month Date

早稲田大学の検定料免除を希望する場合は、本様式を作成し、他の書類と一緒に提出してください。また、本申請をする場合、所定の検定料の支払は不要です。万が一、支払った場合でも、返金は出来ませんので注意してください。

If you would like to apply for a screening fee waiver, please submit this application form with the other required documents. If you apply for a screening fee waiver, you are not required to pay the screening fee. Please note that you will not be reimbursed under any circumstances once the payment of screening fee has been made.

出願学部・研究科：

Name of the Undergraduate School/ Graduate School which you are applying

出願者氏名：

Applicant's Name 姓(Family), 名(Given & Middle)

国 籍 1：

Nationality 1

国 籍 2：

Nationality 2 (for applicants with dual nationality)

現 住 所：

Current Address

出願者署名：

Applicant's Signature

印

Seal (if available)

[対象国/Eligible Countries]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンディ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、バヌアツ、イエメン、ザンビア、ジンバブエ

Afghanistan, Angola, Bangladesh, Benin, Bhutan, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Central African Rep., Chad, Comoros, D.P.R.Korea, Democratic Republic of the Congo, Djibouti, Eritrea, Ethiopia, Gambia, Guinea, Guinea-Bissau, Haiti, Kiribati, Laos, Lesotho, Liberia, Madagascar, Malawi, Mali, Mauritania, Mozambique, Myanmar, Nepal, Niger, Rwanda, Sao Tome and Principe, Senegal, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, South Sudan, Sudan, Tanzania, Timor-Leste, Togo, Tuvalu, Uganda, Vanuatu, Yemen, Zambia, Zimbabwe

研究指導および担当教員

【研究指導内容】

環境調和システム機器研究

関谷 弘志

地球環境問題やエネルギー問題への対応が急務とされる昨今、今後の持続的な人間社会の発展ならびに自然環境の維持・再生のためには、環境負荷低減に寄与する環境調和システム機器の研究開発が益々重要となっている。

これらの諸問題の解決策の一助として、外燃機関や自然冷媒を用いたシステム機器に着目し、その研究開発ならびに最適設計手法の構築を目指すとともに、省エネルギー・クリーンエネルギーに適した次世代分散発電、コージェネレーションおよび高性能冷凍空調への応用を試みる。また、同システム機器を核とする再生可能・未利用エネルギーの最適利活用や廃熱利用についても研究を実施する。

本研究指導においては、環境調和システム機器に関する研究課題の抽出から一連の修士・博士論文研究について助言・指導を行う。

エネルギー・環境政策研究

友成 真一

エネルギー・環境問題は、広範な学問領域をカバーする、総合的な社会問題である。エネルギー・環境問題を政策的に捉えようとする場合、表の論理と裏の論理を立て分けて整理する必要がある。本研究指導では、エネルギー・環境政策の本質をえぐる目を養い、政策のもつ技術的、経済的、社会的、国際的、外交的側面に留意しつつ、各国にとって真に意味のあるエネルギー・環境政策を探求することを目的とする。

環境・エネルギーネットワーク研究

中西 要祐

産業及び経済の持続的な発展のためには電力をはじめとするエネルギーネットワークシステムの形成が不可欠だが、これらは膨大なエネルギーの変換と輸送を伴うことから環境への影響も大きく、システムの効率化と環境保全対策の立案が重要課題である。ここでは、1. エネルギーの発生、輸送、配分、消費に係わるシステム技術、環境問題とその解決技術、2. 環境・エネルギーシステムの最適化、運用制御、経済及び環境影響評価、3. 構成要素の動特性モデリング及びシミュレーション解析といった工学的手段の習得を目的とする。

環境・パワーシステム研究

草鹿 仁

現代の環境問題の多くは燃焼に起因するものであり、近年では種々の環境汚染化学物質が注目されている。今後は、このような環境汚染化学物質の生成・分解過程の解明に対する要求はより一層高まるものと考えられる。このような状況をふまえ、主に内燃機関、エンジンシステムを対象に化学反応により支配される燃焼現象及び有害排出物質の生成・分解過程を扱う。さらに次世代のエネルギー変換システムである燃料電池とそれを応用したエンジンシステムについて研究する。

環境・エクセルギー工学研究

中垣 隆雄

持続可能なエネルギー社会の実現には、温室効果ガスの削減に向けた技術開発が急務である。電気・熱・化学などの形態におけるそれぞれの長所を生かしたエクセルギー視点での環境負荷の小さいエネルギーシステムの構築が極めて重要であり、本研究では以下のようなテーマを指導する。

- ・再生可能エネルギーの有効利用に資するエネルギーストレージに関する研究
 - ・二酸化炭素分離回収固定化技術(CCS)
 - ・化学、電気化学的なエクセルギー再生技術と鉄鋼および工業炉への適用研究
 - ・燃料電池、リチウムイオン電池などの内部の反応・輸送現象の解明と新たな作製方法の開発
- 俯瞰的に技術を見渡せる視野を持ち、確かな学力に基づく課題発見、解決力のある人材育成を目指す。

環境システム評価研究

納富 信

エネルギー等の枯渇性資源の消費、生態系サービスへの過度な負荷を起因とする地球システムの環境システム容量の限界への懸念が大きく叫ばれる中、持続可能な社会を創り上げるためには、エネルギーならびに環境問題の解決が不可欠であり、それには新たな技術システムや社会システムなどの導入・普及対策が重要である。

特に、それらの対策が、現在から将来にわたる時間軸において発生する影響と社会全体に普及させた場合の効果を、時間的・空間的に予測、定量化して、適切な選択肢を与える評価手法の開発が求められている。

そこで本研究指導では、持続的な社会の営みに必要なエネルギーならびに環境システムを構築するのに必要な技術システム、社会的システムのあり方などを、環境面・経済面・社会面で評価する手法を研究し、それを適用することを通じて、課題・問題の所在の明確化、解決に向けた手法の考案、社会に貢献できるスキルとテクニックを開発・修得することを目指す。

環境・電気エネルギー研究

紙屋 雄史

近年、自動車の分野においても、いわゆる環境・エネルギー問題の克服がきわめて重要なテーマとなっており、関連する企業や研究者に対しては、内燃機関の一層の性能向上とともに、それに代わる新たな動力システムの研究開発が求められている。このような背景のもと、ここでは環境調和性に優れた電動車両（電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、等）を対象とした研究指導を行なう。電動車両は、従来の自動車と比較して「温室効果ガス削減効果」「エネルギーシフト効果」「周囲環境負荷低減効果」「乗車環境改善効果」が極めて高い。しかし、主に「バッテリー」とバッテリーへの「充電」に大きな技術的課題を抱えており、なかなか大量普及出来ない状態となっている。そこでここでは、車両本体の設計・製作・環境調和性評価と、これらに共通して搭載される機器類（バッテリー、モータ、充電システム等）の性能向上を図ることで、それぞれ固有の課題を解決すると同時に、共通の「バッテリー・充電問題」に対処していく。

環境配慮エネルギー・循環システム研究

小野田 弘士

低炭素社会、循環型社会の構築に向けて、社会実装を念頭においた次世代型の社会システムの構築に資する技術・システムの開発に関する研究を展開している。ライフサイクル思考に基づくシステム工学的なアプローチを基軸としながら、社会受容性を考慮した学問領域統合型の視点を取り入れている。多様な産学官連携により、プロジェクトベース型の研究を展開していることも特徴である。研究分野は、スマートコミュニティ、次世代モビリティシステム、未利用バイオマス活用技術・システム、再生可能エネルギー利用技術・システム、エネルギーマネジメントシステム、環境配慮設計、LCA、資源循環および廃棄物処理技術・システム、ビジネスエコシステム等。

環境共生・地域社会システム研究

野津 喬

近年、環境問題を単独の課題としてとらえることは難しくなっています。環境問題を理解し、解決するためには、環境、経済、社会のすべての観点から考えることが必要です。地域社会は、環境、経済、社会に関する課題とポテンシャルの双方を有していることから、新たな環境共生社会を実現するための実践の場として注目されています。

本研究指導では、地域資源の活用を通じた、環境と調和した持続可能な地域社会システムの実現に向けた研究を行います。特に環境、エネルギー、地域、食料、農業など多面的な分野の相互関係に着目して、社会科学及び政策的な観点から研究を行います。研究テーマの例としては以下のようなものがあります。

再生可能エネルギーやバイオマスなど未利用資源の活用による地域活性化、環境循環共生政策、農業政策、食料政策、地域政策、食料産業・農業におけるイノベーションシステムの構築、遺伝資源など。

<研究科事務所>お問い合わせ・出願書類送付先

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 入試係
(早稲田大学本庄総合事務センター)

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

TEL 0495-24-6217 FAX 0495(24)6552

E-mail : weee-ent@list.waseda.jp

事務所開室時間: 9:00~17:00(JST) (12:30~13:30は閉室)

※土日・祝日を除く

※お問い合わせ・連絡は、E-mail をお願いいたします